



Centennial of Hashimoto Disease 「橋本病 100 周年記念事業」の開催について

概要

九州大学は、平成 24 年 12 月 1 日（土）～12 月 4 日（火）に、アクロス福岡（福岡市中央区）にて日本甲状腺学会とともに橋本病発見 100 周年記念式典・記念講演会及び 2 つの記念国際シンポジウムを開催します。

本事業には、日、仏、英、独をはじめ欧米 9 か国から 20 名の第一級の免疫学者、臨床医学研究者が参加し、現在なお未解決である自己免疫疾患の原因解明と治療法開発への道を拓くことを目指し、議論を深めます。また、100 年前の九州大学卒業生である橋本策（はしもと はかる）博士の偉大なる業績を現在の若い人に伝え、次の世代を担う若手研究者の育成も目指しています。

■背景

橋本病は、九州大学医学部第 1 回卒業生である橋本策博士が、バセドウ病などそれまでの甲状腺疾患とは異なる新しいタイプの臨床病理像を観察し、1912 年ドイツの臨床外科学雑誌に発表しました。その後、1956 年に、橋本病が自己の臓器を自分の免疫システムが攻撃する「自己免疫疾患」の最初の例であることをイギリスのグループ（ロワット博士、ドニアック博士）が発見し、この疾患の重要性が一段と認識されるようになりました。自己免疫疾患には、関節リウマチ、潰瘍性大腸炎、多発性硬化症をはじめ多くの難病が含まれ、その原因の究明と治療法の開発が待たれています。

自己免疫疾患はどのようにして発症するのか、その治療法はどのように進歩してきたのか、どのような戦略がとられているのか、記念講演会と 2 つの国際シンポジウムにおいて世界の第一人者が講演し、4 日間にわたって議論を深めます。

■内容

【日時】平成 24 年 12 月 1 日（土）～12 月 4 日（火）

【会場】アクロス福岡（福岡市中央区天神 1 丁目 1 番 1 号）

【プログラム概要】

○記念式典 平成 24 年 12 月 1 日（土）16:00～16:30

開会の辞 田中 雅夫（九州大学大学院医学研究院（臨床・腫瘍外科）教授）

来賓挨拶 有川 節夫（九州大学総長）

高久 史磨（日本医学会長）

Wilmar M. Wiersinga（アムステルダム大学教授）

長瀧 重信（日本甲状腺学会元会長・アジア大洋州甲状腺学会名誉会長）

○記念講演 平成 24 年 12 月 1 日（土）16:40～19:00

橋本病の歴史 田中 雅夫（九州大学大学院医学研究院（臨床・腫瘍外科）教授）

橋本病のスペクトルム Leslie J. De Groot（ロードアイランド大学教授、USA）

橋本病と分娩後自己免疫 網野 信行（隈病院）

特別メッセージ

(1) 橋本病における自己免疫の発見

Ivan M. Roitt（ミドルセックス大学教授、UK）

(2) MHC と連鎖した免疫応答遺伝子の発見

Hugh O. McDevitt（スタンフォード大学教授、USA）

橋本病とグレーブス病の HLA による制御 笹月 健彦（九州大学高等研究院特別主幹教授）
制御性 T 細胞の発見 坂口 志文（大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授）
自己免疫疾患の IL-6 受容体抗体による治療法開発 岸本 忠三（大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授）
閉会の辞 熊澤 淨一（九州大学医学部同窓会前会長）

○国際シンポジウム I 「橋本病 100 周年－甲状腺と自己免疫」
12 月 1 日（土）8:30～15:30

○国際シンポジウム II 「自己免疫疾患の病因解明と治療法開発への挑戦」
12 月 2 日（日）9:00～17:40
12 月 3 日（月）9:00～16:45
12 月 4 日（火）9:00～12:30

【オーガナイザー】

笹月 健彦（九州大学高等研究院 特別主幹教授）
田中 雅夫（九州大学大学院医学研究院教授）
廣松 雄治（久留米大学医学部教授、日本甲状腺学会平成 24 年度学術集会長）

【関係機関等】

- ・日本甲状腺学会
- ・文部科学省 科学研究費助成事業 新学術領域研究
「先端技術を駆使した HLA 多型・進化・疾病に関する統合的研究」
- ・九州大学ポストグローバル COE 支援プログラム
- ・九州大学生体防御医学研究所（共同利用・共同研究拠点）
- ・九州大学高等研究院
- ・九州大学医学部同窓会
- ・公益財団法人難病医学研究財団

■効果

自己免疫応答がどのようにして起こるのか、自己免疫病はどのように治療できるのか、抑制性 T 細胞の発見者坂口志文教授、関節リウマチの IL-6 受容体抗体療法の開発者岸本忠三教授をはじめとする日本が世界に誇る研究者と欧米の第一人者が一堂に会して病因と治療法に関する議論により、新しい道が切り拓かれると期待されます。

また、優れた研究者・臨床医学者と共に議論することを通して、国際的に活躍できる次の世代を担う若手研究者の養成も期待されます。

【お問い合わせ】

高等研究院 特別主幹教授 笹月 健彦
電話：092-642-6966
FAX：092-642-6971
Mail：sasazuki@bioreg.kyushu-u.ac.jp